



二次元コードから
閲覧可能です。

地域のために 自らの意思で ボランティア清掃 !!

文部科学省は、中学校学習指導要領 解説「総合的な学習の時間編」〈平成29年告示〉の中で、「生徒が自ら設定した課題を解決する過程では、地域の様々な人との関わりが生じることも考えられる。そうした学習活動では、『自分の力で解決することができた』『自分が学習したことが地域の役に立った』『これからも地域づくりに参画したい』などの、課題の解決に取り組んだことへの自信や自尊感情が育まれ、日常生活や社会への参画意識も醸成される。」と述べています。

本号では、生徒会活動を中心に、地域の絆を深めるための活動を継続している灘中学校を紹介します。

郷土愛あふれる 瀬戸内海環境保全大作戦 青木海岸清掃ボランティア！

昨年度から、運営側として参画する生徒も出てきました。前日準備や当日のお世話を頑張っていました。今年は80名以上の生徒が清掃に自主的に参加してくれました。〈担当教諭〉

本日はありがとうございます。灘地区社会福祉協議会会員や中学生スタッフが、オレンジ色の帽子をかぶっています。分からないことがあったら聞いてください。〈地域住民〉

小さく折って袋に入れると沢山入るなど、清掃のコツを色々教えてもらって嬉しかったです。〈中学生〉

流木などを船に積むのは力がいらいます。中学生が手伝ってくれて大助かりです。〈地域住民〉

いきますよ～。
せ～の、よいしょ。上手く渡せて良かったです。〈中学生〉

滑らすように押してくれるかな。せ～の、よいしょ。ありがとう。〈地域住民〉

疲れたけど、砂浜や海岸線を見るととてもきれいになっていて、気持ちがすっきりしました。〈中学生〉

90分間でしたが、とてもきれいになりました。灘中生徒は素直でよく働きました。有難かったです。〈地域住民〉

週休日にもかかわらず、全校生徒の1/3以上が参加し、一生懸命に汗を流していました。主催者も健康や安全に配慮しながら、中学生も含め地域住民みんなで自分たちの海岸を美しくしようとする意識の高さを感じました。学校や家庭で育んだ郷土愛が、自ら進んで清掃するという実践活動に結びついているなと思いました。

